

会員拡大交流委員会 基本方針（案）

副理事長 岡田 直樹

会員拡大交流委員会 委員長 金山 一江

1 コロナ禍からの持ち直しが続く一方で地域活動が著しく損なわれ交流の場が少なくなって
2 いました。その中で、日々の活動を通じ培われるはずの経験が得られなかったため自己発
3 揮したい青年の活動が失われてきました。そこで我々鳴門板野 J C が活動を通じ会員の成
4 長機会を提供し共に鼓舞し合い、成長していく必要があります。会員増加が見込めていれ
5 ば青年会議所としての活動がより活性化し個人の成長機会の場を広げることが可能です。

6 まずは、会員拡大をする意味を一人ひとりがよく理解し、当委員会だけが会員拡大をして
7 いくのではなく、メンバー全員に当事者意識を持ってもらい、組織全体で会員拡大をする
8 体制を作ります。これから未来の L O M の発展には青年たちの発想と行動力は大切です。
9 委員会内で入会候補者情報を理事会や例会時にメンバーに共有していき、委員会の垣根を
10 越え、入会候補者に鳴門板野 J C の魅力を伝える機会を作ることによって会員拡大の連鎖
11 が必然的に L O M 内で起こります。さらに、卒業したメンバーにも声かけや情報収集をし
12 ていき、会員拡大の経験やアドバイスが聞ける場を設け、今後の取り組みにおいて大きな
13 成果に繋がります。そして、入会候補者については例会や事業においてオブザーブ参加し
14 てもらい交流の場で集まったメンバーに J C の魅力や素晴らしさを伝えていただきます。
15 また、例会や事業で参加して下さったオブザーブとその場だけでの交流が終わりではなく
16 こちらから積極的に連絡した上で定期的に会う機会を設け J C 活動で得られる魅力をよく
17 理解してもらい J C に入会したいと思えるような機会をすべての委員会でしていきます。

18 J C の魅力に気付き、今後の活動で主軸となる新メンバーが増えることで、鳴門板野 J C
19 のベテランが卒業した際においても、これからの活動を通して鳴門板野 J C の魅力を発信
20 し続ける同じ志を持ったメンバーが私たちの活動エリアで活躍していく団体になります。

21

22

23 S D G s 4、5、17

24 [事業計画]

25 1. 2月未来を担う会員拡大の例会企画・設営

26 2. 6月新入会員候補者との例会企画・設営